

### 第3回米沢市立学校適正規模・適正配置等検討委員会 議事録

日 時 平成29年11月1日(水) 14:00~16:00

場 所 置賜総合文化センター 教育委員室

出席者 1号委員 尾形 健明委員、鈴木 一憲委員

2号委員 土屋 宏委員、岩倉 由美委員、山口 周治委員

3号委員 大町 竜哉委員、遠藤 貴裕委員

4号委員 涌井 且一委員、板垣 正明委員、玄番 京子委員

米沢市教育委員会

教育長 大河原 真樹、教育管理部長 菅野 紀生、

教育総務課長 我妻 祐一、課長補佐 小田 浩昭、

副主幹兼施設主査 庄司 哲朗

教育指導部長 佐藤 哲、学校教育課長 山口 博、

課長補佐 片桐茂、課長補佐 木村 智子、

学校財務主査 笹原 恵、学事主査 佐藤 多恵子、

嘱託職員 鈴木愛子

(進行) 学校教育課長補佐 片桐 茂

(マスコミ) 米澤新聞社

資 料 次第、第2回米沢市立学校適正規模・適正配置等検討委員会議事録、  
資料1 第2回検討委員会で出された意見のまとめ

資料2 平成29年度改定米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画

第3回検討委員会までの修正箇所について

資料3 平成29年度改訂米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画(案)

資料4 今後の中学校生徒数の推移

米沢市立学校適正規模・適正配置等基本方針答申(平成23年2月23日)

#### 議 事

1 学校教育課長補佐より、委員会成立宣言がされる。

2 委員長 挨拶。

3 学校教育課長補佐より、第1回検討委員会で、この委員会は原則、公開について説明をしたが、本日、米澤新聞社が出席しているので報告する。

議長選出 委員長の尾形健明氏。

4 協議

(1) 第2回検討委員会の議事録の確認

**教育指導部長** 第2回検討委員会の議事録について、修正等あればお願いしたい。

**委員長** 気付いた点あれば出してほしい。  
特になし。

(2) 事務局からの説明

**教育指導部長** 米沢市立学校適正規模・適正配置等基本方針～子どもたちのよりよい教育のために～答申(H23年2月23日)について説明する。2年間10回の会議を重ねて、本市の適正規模・適正配置の基本的な考え方をまとめたものである。スタート地点を共通理解するため、もう一度確認しておきたい。「はじめに」では、検討委員会立ち上げの主旨を、学校規模により生じてくる課題に対して、児童生徒の教育の機会均等などを実現し、教育水準の維持向上を図るために、検討委員会を立ち上げたとしている。学校については、教育的観点に加え、財政面からの効果的効率的な学校経営、学校と地域社会との関係等に注目しながら子どもたちにとってよりよい教育を検討していくと記されている。

P1 米沢市の小・中学校の現状(1)児童・生徒数の推移図-1のグラフは、緩やかに下降していく。H21年度段階では、児童・生徒数の推移は緩やかな減少だった。P3、P4は、複式学級の状況、遠距離通学の状況。P6、P7では、学校規模での具体的な課題が載せられている。議事録を読んだが、ここの議論は詳しくされていていろんな意見が出されたなかで、整理されている。P6からP8は、適正規模についての考え方がまとめられている。子ども同士の間関係、教育の機会均等、教育水準の確保という観点からある程度の規模が必要であるとされている。P9、P10は、適正配置の考え方で、スクールバスのこと、地域住民や関係者の方々の理解、施設の有効活用についても触れられている。P10最後に今後の進め方で現段階より将来を見通した教育環境の整備計画を立案すること、教育環境の整備計画をH23年度に策定した上で、各学校の保護者や地域の方々と協議を重ね合意形成を図りながら進めていくことが望まれると結ばれている。これができるのがH23年2月で、3月11日に東日本大震災がおこり、その後基本計画の策定となった。あとがきに、この答申が迷った時の心のよりどころとなるとある。児童生徒の成長と質の高い教育を平等に保障することが優先されるべき原則であることがスタート地点であると思う。

米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画の改定について  
今回の基本計画の改訂について説明する。

資料 1 「第2回検討委員会でだされた意見のまとめ」の説明。

資料 2 「第3回検討委員会までの修正箇所について」説明。

資料 3 H29年度改定米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画(案)

について説明。ロゴマークについては今後検討したい。P1「はじめに」にグラフを入れ、本市の状況・課題をはっきりさせた。P2 計画の位置づけ等の記載。P5 小学校の規模について、H35 年度の推計で見ても規模が小さくなってきていることが、あらためて分かると思う。P6 中学校の規模について、H41 年度以降は推計できないが 12 学級を維持するのは難しい。10 年以内に中学校再編をしておかないと適正規模には近づけないことが分かると思う。P8 小学校の適正規模について、6 学級という文言を外している。これについて意見をいただきたい。P10 以降は、はじめて説明することになる。どうやって適正規模を実現していくかということだが、基本的な考え方を 7 つ示している。適正配置の実施方法について、中学校については、最終的に 3 つの中学校に再編統合する。P11 今後の中学校生徒数の推移を示したが、学校の規模について、H41 年度には 3 校でも適正な規模になる。施設については、今ある学校を有効活用することを考えている。東地区は、第一中の校舎を活用して、第一中と第五中を（仮称）東中学校に統合し、第七中は、地域との協議のうえ統合年度を決定すると記した。南西地区は、第二中の敷地に（仮称）南西中を建設する。北地区は、第四中を活用して第四中と第六中を（仮称）北中に統合する。学校名については、市民からの募集等も考えられる。統合年度については、南西地区を最優先とし H37 年度の開校を目指す。東地区と北地区についても統合について準備を進めるが、来年度以降計画を立てていく。中学校区の変更について、一つの小学校から一つの中学校に進学するように変更する。P12 小学校については、はじめて示す。将来の小学校グループの説明。興譲小について、特別支援学級の集約等、教育支援センターの機能を持つ、特化した学校を考えている。この小学校グループについては、これから協議をしながら統合を進めていく。H30 年度より協議を開始し、統合にあたっては、近隣の学校との段階的な統合も考えられる。P13 教育環境に関する整備、学校規模の適正化を円滑に進めるための取り組み等記した。以上、P9 までと、P10 から分けて話し合いをお願いしたい。

### (3) 質疑

**委員長** 子どもたちのため、米沢のためという大前提で、全国でまねされるような米沢モデルが構築できればいいと思う。皆さんから意見をいただきたい。

**教育指導部長** 資料 4 の説明。今後の中学校生徒数の推移から統合の目安として H37 年度ころと考えられる。参考にしてほしい。

**委員** 今回はマスコミも入っているが、公開の仕方によってはパニックになりはしないのか。市の内部でも検討していない、パブリックコメントも実施していないので、どこまでマスコミに公開してもらって良いとするのか、今まではどう対応していたのかお聞きしたい。

**教育指導部長** 検討委員会については、これまでも議会に報告している。この資料についても、庁内で検討をして調整したもので、議員の方々にもお渡ししてある公開資料になる。検討委員会の途中経過をお知らせしながら今後意見を集約していきたい。

**委員** そうだとすると、3校にするとあるが、資料4は4校になっているので誤解は生じないか。

**教育指導部長** 東地区についてだが、第五中が老朽化しているので早く対応したい。第七中については、施設もまだ新しく、規模的にも一度での統合は難しいので段階的にと考えている。最終的に3校となる。

**委員** 第七中が統合するのは何年度ころか。

**教育指導部長** まだ、未定である。

**委員** 表だけ見ると4校に見えるので、何年度に3校になるということが分かると思う。

**委員長** 他に質問はないか。

**委員** 資料3 P2 H30～H50年度の数え方だが、「度」が入ると21年間になるのではないか。20年間とするなら、H49年度ではないのか。

**委員長** そこは非常に大事なところになる。H49年度に訂正してください。他になにか気づいた点はないか。

**委員** 前半の部分は、きちんと考えられていて以前の部分も踏襲したかたちになっている。このままでよいと思う。

**委員** 説明をきいて、疑問に思うところはない。

**委員** 小学校の規模について、12 学級以上というところは、但し書きなしでよいと思う。

**委員** 同意見で小学校の規模についてきちんと書かれていてわかりやすいと思う。

**委員** 特に疑問はない。生徒数の推移や施設の老朽化等、根拠がきちんとなされているのでよいと思う。

**委員** P8 (2) 中学校のところで、「→指導体制が充実する 各学年 4 学級以上の 12 学級以上を適正規模とします。」のところで、一般の人が読んだら、どういうところから 4 学級以上となるのかわからないと思う。

**教育指導部長** 生徒数、学級数によって、教員数、免許を持った専門の教員の配置が左右される。12 学級あれば技能教科教員の配置ができる。P6 の (参考) のようなものがあればわかりやすいと思う。資料の示し方を検討したい。

**委員** 教員の配置について「技術の教師は週何時間教えなければならない」という基準があると聞いたことがあった。南原中は 3 学級しかなく、専門外の先生が教えている実状があり、そういうことからかとは思ったが、それがなぜ 4 学級なのか疑問に思った。

**委員長** 米沢まちづくり総合計画で、「学園都市米沢」というキーワードを打ち出している。高等教育 3 校あるのでそこと連携できれば、米沢モデルとして発信できるのではないかと思った。

**委員** 南原中の美術の先生が手術のため休まれたとき、その間、南原の画家の先生のお話を聞けないか聞いたところ、成績をつけられないため無理であるとのことだった。

**委員** 評価をすることは教員免許が必要だが、地域の指導者には、授業に入っただき、一緒にということはお願いしているところだ。

**委員** 前回、中学校は 4 校とあったが、今回いろいろな資料をいただき、少子化で、3 校にせざるを得ないを考える。今回の提案に賛成する。

**委員** 「4校で大丈夫なのか。」といったことが「3校で」と、されたことは、この委員会で検討されていることが生きてきていると感じた。12学級は、理想とするのか、目標とするのか。P10の1適正配置についての基本的な考え、(5)で複式学級を解消し6学級とするとある。段階的に進めるのは、市民に二倍の負担をかけるのではないか。12学級を目標とするのであれば、最初から12学級で小学校の統廃合を考えていかなければならないと思うが、どうか。

**教育指導部長** 前半の一番のカギがここになる。20年かけて、すべての学校で12学級という長いスパンでの目標と考えた。P12のグループ分けをした場合どういう意見がでるのか、地域の方とも協議をしていないので計りかねている。目標ということで、但し書きを削った方がいいのか、具体的な取り組みやすい部分を示していった方がいいのか、意見をいただきたい。

**委員** 数合わせの学校をつくるのではないと説明できれば、理解は得られると思う。

**教育指導部長** 3つの学校を統合するには時間がかかるので、まずは、複式学級の解消と思うが、地域の意見をいただいて進めていきたい。

**委員長** 20年後には12学級、途中、状況に応じて6学級もあるということ。近々に6学級にしたいのか。

**教育指導部長** 子どもたちは、その中で生活するので、なるべく早く複式学級を解消したい。

**委員** この中に盛り込むことではないと思うが、一小一中にした場合、学区編成が変わることにより、兄弟で違う学校へ通学することも考えられる。そういう場合、弾力的な対応ができれば混乱は少ないと思う。市民への説明時に、弾力的な対応の案も持っておいた方がよいと思う。小学校のグループ化の中に、小中一貫の対応もあるのであれば、この中に記載した方がスムーズな連携ができると思う。

**教育指導部長** このグループ化で、小学校がどの中学校と連携するのが見えると思う。もう少しわかるように示したい。

**委員長** 小中一貫のよいところを市民に説明する必要があると思う。後半部分についてはどうか。

**委員** P10（仮称）南西中について、開校を H37 年度とはっきり書いてあるが、その他について年限を設けなくてよいのか。（仮称）東中を考えた場合、第七中を含めて考えると、だいぶ先になると思うが、第一中を考えた時に、20 年間のなかで老朽化はどうか。（仮称）北中は校舎も新しいので先になると思うが、年限は盛り込まなくてよいのか。

**教育指導部長** 一斉に統合できればいいのだが、準備等を含め、年数がかかる。市教委でも、年限を入れられないかとの意見があった。事務局、庁内で検討したい。

**委員** すごい計画だと思った。来年度から複式学級のある学校の協議がスタートするというので、子どもたちのことが考えられていると思った。

**委員** 適正配置の大胆な改革を評価したい。要望だが、中学校の学区編成で移行期は前にもってきた方がよいと思う。移行期はどちらに行ってもよいということも明示してほしい。興譲小は、市内の中心で利便性のいい場所にある。ことばの教室、LD、ADHD の通級教室を設置しているが、他校からの通級も受け入れたい。幼児ことばの教室は、空き教室の都合で万世小になっているが、利便性を考え、興譲小に設置してほしい。この計画の地域への説明は、できるだけ早い段階でおこなってほしい。

**委員** 三沢東部小も複式学級があるので、H30 年度から協議とあるが、H30 年 4 月から突然話があると動揺があると思う。今年度から少しずつ話があると、動揺も少ないと思う。興譲小に病弱学級などを設置するのは、移動してくるイメージか。新しく設置するのか。

**教育指導部長** 障がいを持つ子どもたちが、快適に過ごせるように、通級もできるセンター的な役割をもたせた環境を整備するというアイデアである。通級の利便性から、興譲小を位置付けたい。

**委員** 世の中の流れで、中学校の統合は致し方ないと思う。基本計画については、これでよいと思う。小学校が大変だと思う。新聞報道でパニックにならないか。中学校の統合について、校舎の老朽化もあるので、

ある程度期間をもたせて統合年度を図で示せないか。

**委員長** 校舎の老朽化についても計画に入れておいた方がよいのではないか。

**委員** 南原中の統合について、納得はしているが、年配の人は、吸収合併されると考えている。2校より3校が統合になった方がその考えは薄れると思う。H37年度に開校するとき、小学校も一緒に入れる小中一貫校をつかってほしい。愛知県瀬戸市の、小中一貫校推進の例を調べた。メリット、デメリットはあるが、小中一貫の方が、中一ギャップも少ないと思う。

**委員長** 最初から、小中一貫の学校をつくるということか。

**教育指導部長** 2校より3校という形は、吸収合併ということがなくなる。南西地区で、小中一貫校をH37年度に開校するのは、児童生徒数の規模的に難しいと感じる。小学校の統合を考えたとき、数合わせでなく夢のあるものにしたい。

**委員** P11にある、第七中のことが気にかかる。なぜ、段階的になるのかの理由を示した方がよいと思う。

**教育指導部長** 市教委でも、生徒数の規模のことなのかということがあった。これはまだ検討中の案で不備もあるので、修正したものをつくり、庁内でも検討し、次回に示したい。

**委員** 第七中の宙ぶらりんを早く解消しなければならないと思う。小学校の再編で、校舎、敷地、市の財政面、または、通学距離やスクールバス等いろいろなことを考えたとき、段階的に12学級とするのではなく、いっきに12学級を目標とした方がよいと思う。

**教育指導部長** 長いスパンなので、計画について、財政面の課題を含め吟味したい。今回、南原中でスクールバスを運行するので、今後、注視していきたい。

**委員** 大筋うまくまとまってきたと思う。市民への説明の準備を早く進めた方がよいと思う。興譲小での、特別支援学級のセンター化について、



もっと具体的な内容を検討しておいた方がよいと思う。保護者が不安にならないよう、特別支援学級をセンター化する利点を、市民へ説明し、市民からの疑問に答えられるように準備をしておいた方がよいと思う。給食の取扱いも食数から見て、親子方式からセンター化した方がよいのではないかという意見が出てくると思うが、自校方式は米沢のよいところなので、守る形で食に関することも入れてほしい。中高一貫教育の可能性を考えると、小中一貫教育を進めると、中高一貫教育が進めにくくなるのではないか。中高一貫教育にしたことによって、活性化したという話もきく。すり合わせる機会があればいいと思う。

**教育指導部長** 特別支援学級のセンター化については、各校を引き上げるわけではなく、難聴・肢体不自由等、施設の設備で特別な配慮が必要な場合を考えている。丁寧な説明をしていきたい。今日、多くの意見が出されたので、示し方を修正していく。議員にも資料を送り概要等報告したい。総務文教常任委員会でも報告し、適正規模の説明からしていきたい。議員へ説明後、12月に地元説明会を中学校8校で行いたい。給食についても、念頭にいれていく。中高一貫教育については、庄内にもできるので、教育長、教育事務所、高校と話をしてもらいたいと思っている。

**委員** 中高一貫教育は他の中学にもよい刺激になると思う。可能性のある計画づくりがよいと思う。

**委員** 小・中学校が統合すると、教員数は減るのか。校長先生は減ると思うが、他の教員はどうか。

**教育指導部長** 定数が決まっているので、学校の規模による配置になる。去年と今年とでも児童生徒数の減少により、学級数は減っているので、教員数は減っている。

**教育長** 県教委で採用人数の調整をしているので大丈夫だ。

**委員** 教員の待遇をよくすることも、市教委で考えてほしい。米沢出身でない教員でも、米沢に居たいと思えるような環境をつくり、質の高い教員を確保することで、レベルの高い教育ができるよう、議会に要望してほしい。

**委員長** 教員になりたい学生を米沢で抱え込めるようにしてほしい。以上で質疑を閉じる。

(4) 次回会議の日程

**教育指導部長** 4回目を12月20日(水)午前10時からと考えている。修正案を示したい。

(5) その他

**教育指導部長** 地域への説明について、検討委員会で検討中ではあるが、各中学校区での説明をしていきたい。

**委員** パブリックコメントは、出来上がらないとできないのか。

**教育指導部長** 12月20日に修正案が出来るので、1月から2月でパブリックコメントを考えている。

**委員** パブリックコメントの扱いについて、ただやっただけでなく、計画の案に入れられるような意見の集約が必要だと思う。

**委員** 前回の計画に際に、議会から、案の段階でパブリックコメントをとるように言われ、そのようにしたと記憶している。

**委員長** 視点が違ったよい意見が出ることもある。

**教育指導部長** 適正規模の情報発信もしていきたい。

**委員長** 実施計画もつくらなくてはいけないのか。

**教育指導部長** この計画が策定されたら、来年度は、移行期間のことや複式学級のこととも検討していかなければならないと考えている。

5 その他 なし